

〔バリダマイシン粉剤〕

農林水産省登録 第15251号

性 状：類白色粉末45 $\mu$ m以下、浮遊性指数20以下

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：5 年

包 装：3kg $\times$ 8

## バリダシン®粉剤DL

有効成分：バリダマイシンA……………0.30%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報をご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

### 〔適用と使用方法〕

作物名	適用病害名	10アール当り 使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	紋枯病 疑似紋枯症 (赤色菌核病菌 褐色菌核病菌 褐色紋枯病菌)	3～4kg	14日前	本 剤：5回	散布
				バリダマイシン：6回 (育苗箱灌水は1回、 本田では5回)	
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	20kg	—	4回	株元散布
いぐさ	紋枯病	3～4.5kg	—	—	散布
ばれいしょ	黒あざ病	種いも重量 の0.3%	植付前	本 剤：1回 バリダマイシン：7回 (#1)	種いも粉衣

#1：種いもへの処理1回、植付後は6回



### 効果・薬害等の注意

- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく、流動性がよいので、散布の際は散粉機の開度を1目盛程度しばって散布する。
- 稲に使用する場合、次のことに注意する。
  - 株元、葉鞘部に対しても散布むらのないよう全体に均一に散布する。
  - 紋枯病に対する本剤の防除適期は病斑の上位葉鞘への進展初期の頃であるので病斑の進展を確認してから適期に散布する。
- ばれいしょの種いも粉衣処理に使用する場合、次のことに注意する。
  - 植付前に本剤の所定量を適当な容器の中で均一に粉衣する。
  - 切断した種いもは切断面が乾いてから処理する。
- きく（秀芳の力等）には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。



### 安全使用上の注意



- 眼に入らないよう注意する。  
眼に入った場合には直ちに水洗し眼科医の手当を受ける。（刺激性）
- 散布の際は農薬用マスクなどを着用する。  
作業後はうがいをするとともに洗眼する。
- 本剤で処理した種いもは食料や動物飼料として用いない。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。